

新しい「ミサの式次第と第一～第四奉献文」

～会衆と奉仕者が唱える式文のおもな変更箇所～

- ・以下は、2022年11月27日（待降節第1主日）から実施される新しい「ミサの式次第と第一～第四奉献文」のうち、会衆と奉仕者が唱える式文のおもな変更箇所です。太字の部分が今回変更される箇所を示しています。前後関係で必要な場合には司式者の式文も加えてあります。
- ・変更箇所全体については『新しい「ミサの式次第と第一～第四奉献文」の変更箇所—2022年11月27日（待降節第1主日）からの実施に向けて』（カトリック中央協議会）を参照してください。
- ・使用している略号は下記のとおりです。 司：司祭または司教／助：助祭／会：会衆／朗：朗読者

開祭

	現行『ミサ典礼書』	新しい「ミサの式次第と第一～第四奉献文」
あいさつ	司 主は皆さんとともに 会 また司祭とともに。	司 主は皆さんとともに。 会 またあなたとともに。
回心の祈り	<p>第一形式</p> <p>全能の神と、 兄弟の皆さんに告白します。 わたしは、思い、ことば、行い、怠りによってたびたび罪を犯しました。 聖母マリア、すべての天使と聖人、そして兄弟の皆さん、 罪深いわたしのために神に祈ってください。</p> <p>司 全能の神がわたしたちを……</p> <p>第二形式</p> <p>神よ、 罪深いわたしたちをあわれみ、 いつくしみを示し、救いをお与えください。</p>	<p>回心の祈り 一</p> <p>全能の神と、 兄弟姉妹の皆さんに告白します。 わたしは、思い、ことば、行い、怠りによってたびたび罪を犯しました。 聖母マリア、すべての天使と聖人、そして兄弟姉妹の皆さん、 罪深いわたしのために神に祈ってください。</p> <p>司 全能の神、いつくしみ深い父が……</p> <p>回心の祈り 二</p> <p>司 主よ、あわれみをわたしたちに。 会 わたしたちはあなたに罪を犯しました。 司 主よ、いつくしみを示し、</p>

	<p>司 全能の神がわたしたちを……</p> <p style="text-align: center;">第三形式</p> <p>先 打ち砕かれた心をいやすために遣わされた主よ、あわれみたまえ。 会 主よ、あわれみたまえ。 先 罪びとを招くために来られたキリスト、あわれみたまえ。 会 キリスト、あわれみたまえ。 先 父の右の座にあって、わたしたちのためにとりなしてくださる主よ、あ われみたまえ。 会 主よ、あわれみたまえ。 司 全能の神がわたしたちを……</p>	<p>会 わたしたちに救いをお与えください。 司 全能の神、いつくしみ深い父が……</p> <p style="text-align: center;">回心の祈り 三</p> <p>先 打ち砕かれた心をいやすために遣わされた主よ、いつくしみを。 会 主よ、いつくしみをわたしたちに。 先 罪びとを招くために来られたキリスト、いつくしみを。 会 キリスト、いつくしみをわたしたちに。 先 父の右の座にあって、わたしたちのためにとりなしてくださる主よ、い つくしみを。 会 主よ、いつくしみをわたしたちに。 司 全能の神、いつくしみ深い父が……</p>
--	---	---

<p>いつくしみの賛歌 (キリ エ)</p>	<p>先 主よ、あわれみたまえ。 会 主よ、あわれみたまえ。 先 キリスト、あわれみたまえ。 会 キリスト、あわれみたまえ。 先 主よ、あわれみたまえ。 会 主よ、あわれみたまえ。</p>	<p>(一)</p> <p>先 主よ、いつくしみを。 会 主よ、いつくしみをわたしたちに。 先 キリスト、いつくしみを。 会 キリスト、いつくしみをわたしたちに。 先 主よ、いつくしみを。 会 主よ、いつくしみをわたしたちに。</p> <p>(二)</p> <p>先 キリエ、エレイソン。 会 キリエ、エレイソン。 先 クリステ、エレイソン。 会 クリステ、エレイソン。 先 キリエ、エレイソン。 会 キリエ、エレイソン。</p>
-----------------------------	---	---

<p>栄光の賛歌（グロリア）</p>	<p>天のいと高きところには神に栄光、 地には善意の人に平和あれ。 われら主をほめ、主をたたえ、 主を拝み、主をあがめ、 主の大いなる栄光のゆえに感謝し奉る。 神なる主、天の王、全能の父なる神よ。 主なる御ひとり子、イエス・キリストよ。 神なる主、神の小羊、父のみ子よ。 世の罪を除きたもう主よ、われらをあわれみたまえ。 世の罪を除きたもう主よ、われらの願いを聞き入れたまえ。 父の右に座したもう主よ、われらをあわれみたまえ。 主のみ聖なり、主のみ王なり、 主のみいと高し、イエス・キリストよ。 聖霊とともに、父なる神の栄光のうちに。 アーメン。</p>	<p>天には神に栄光、 地にはみ心にかなう人に平和。 神なる主、天の王、全能の父なる神よ。 わたしたちは主をほめ、主をたたえ、 主を拝み、主をあがめ、 主の大いなる栄光のゆえに感謝をささげます。 主なる御ひとり子イエス・キリストよ、 神なる主、神の小羊、父のみ子よ、 世の罪を取り除く主よ、いつくしみをわたしたちに。 世の罪を取り除く主よ、わたしたちの願いを聞き入れてください。 父の右に座しておられる主よ、いつくしみをわたしたちに。 ただひとり聖なるかた、すべてを越える唯一の主、 イエス・キリストよ、 聖霊とともに父なる神の栄光のうちに。 アーメン。</p>
--------------------	---	---

ことばの典礼

	現行『ミサ典礼書』	新しい「ミサの式次第と第一～第四奉献文」
<p>第一（第二）朗読の後</p>	<p>朗読者は朗読の終わりを示すために聖書に一礼する。 奉仕者は「神に感謝」と答える。</p>	<p>朗読の終わりを示すため、朗読者は手を合わせてはっきりと唱える。 朗 神のみことば。 一同 神に感謝。</p>
<p>福音朗読の前</p>	<p>助 主は皆さんとともに。 会 また司祭とともに。</p>	<p>助 主は皆さんとともに。 会 またあなたとともに。</p>

感謝の典礼（エウカリスティア）

	現行『ミサ典礼書』	新しい「ミサの式次第と第一～第四奉献文」
奉納祈願への招き	<p>司 皆さん、このささげものを、全能の、神である父が受け入れてくださるよう祈りましょう。</p> <p>一同は司祭とともにしばらく沈黙のうちに祈る。</p> <p>次のような祈りをすることもできる。</p> <p>「神の栄光と賛美のため、また全教会とわたしたち自身のために、司祭の手を通しておささげするいけにえをお受けください。」</p>	<p>司 皆さん、ともにささげるこのいけにえを、全能の父である神が受け入れてくださるよう祈りましょう。</p> <p>会 神の栄光と賛美のため、またわたしたちと全教会のために、あなたの手を通しておささげするいけにえを、神が受け入れてくださいますように。</p>

奉献文（エウカリスティアの祈り）

	現行『ミサ典礼書』	新しい「ミサの式次第と第一～第四奉献文」
叙唱前の対話句	<p>司 主は皆さんとともに。</p> <p>会 また司祭とともに。</p> <p>司 心をこめて神を仰ぎ、</p> <p>会 賛美と感謝をささげましょう。</p>	<p>司 主は皆さんとともに。</p> <p>会 またあなたとともに。</p> <p>司 心をこめて、</p> <p>会 神を仰ぎ、</p> <p>司 賛美と感謝をささげましょう。</p> <p>会 それはとうとい大切な務め（です）。</p>
感謝の賛歌（サンクトゥス）	<p>聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の神なる主。 主の栄光は天地に満つ。 天のいと高きところにホザンナ。 ほむべきかな、主の名によりて来たる者。 天のいと高きところにホザンナ。</p>	<p>聖なる、聖なる、聖なる神、すべてを治める神なる主。 主の栄光は天地に満つ。 天には神にホザンナ。 主の名によって来られるかたに賛美。 天には神にホザンナ。</p>
記念唱	<p>司 信仰の神秘。</p> <p>会 主の死を思い、復活をたたえよう、主が来られるまで。</p> <p style="text-align: center;">または</p> <p>会 主の死を仰ぎ、復活をたたえ、告げ知らせよう、主が来られるまで。</p>	<p>司 信仰の神秘。</p> <p>会 主よ、あなたの死を告げ知らせ、復活をほめたたえます。再び来られるときまで。</p> <p style="text-align: center;">または</p>

		<p>会 主よ、このパンを食べ、この杯を飲むたびに、あなたの死を告げ知らせます。再び来られるときまで。</p> <p>または</p> <p>会 十字架と復活によってわたしたちを解放された世の救い主、わたしたちをお救いください。</p>
--	--	---

交わりの儀（コムニオ）

	現行『ミサ典礼書』	新しい「ミサの式次第と第一～第四奉献文」
主の祈りの副文	<p>司 わたしたちの希望、救い主イエス・キリストが来られるのを待ち望んでいます。</p> <p>会 国と力と栄光は、限りなくあなたのもの。</p>	<p>司 わたしたちの希望、救い主イエス・キリストが来られるのを待ち望んでいます。</p> <p>会 国と力と栄光は、永遠にあなたのもの。</p>
平和のあいさつ	<p>司 主の平和がいつも皆さんとともに。</p> <p>会 また司祭とともに。</p>	<p>司 主の平和がいつも皆さんとともに。</p> <p>会 またあなたとともに。</p>
平和の賛歌（アニュス・デイ）	<p>神の小羊、世の罪を除きたもう主よ、われらをあわれみたまえ。</p> <p>神の小羊、世の罪を除きたもう主よ、われらをあわれみたまえ。</p> <p>神の小羊、世の罪を除きたもう主よ、われらに平安を与えたまえ。</p>	<p>世の罪を取り除く神の小羊、いつくしみをわたしたちに。</p> <p>世の罪を取り除く神の小羊、いつくしみをわたしたちに。</p> <p>世の罪を取り除く神の小羊、平和をわたしたちに。</p>
拝領前の信仰告白	<p>司 神の小羊の食卓に招かれた者は幸い。</p> <p>会 主よ、あなたは神の子キリスト、永遠のいのちの糧、あなたをおいてだれのところに行きましょう。</p>	<p>司 世の罪を取り除く神の小羊。 神の小羊の食卓に招かれた人は幸い。</p> <p>会 主よ、わたしはあなたをお迎えするにふさわしい者ではありません。 おことばをいただくだけで救われます。</p> <p>または</p> <p>会 主よ、あなたは神の子キリスト、永遠のいのちの糧、あなたをおいてだれのところに行きましょう。</p>

閉祭

	現行『ミサ典礼書』	新しい「ミサの式次第と第一～第四奉献文」
派遣の祝福	司 主は皆さんとともに。 会 また 司祭 とともに。 司 全能の神……	司 主は皆さんとともに。 会 また あなた とともに。 司 全能の神……
派遣の祝福（司教）		司 主は皆さんとともに。 会 また あなた とともに。 司 主のみ名がいつもたたえられますように。 会 いまよりとこしえに。 司 主のみ名はわたしたちの助け。 会 主は天地の造り主。 司 全能の神……

司式者が唱える直前の式文が変更される箇所

会衆の式文は変更されませんが、司式者が唱える直前の式文が変更される以下の箇所では、会衆が応唱する際に注意が必要です。

	現行『ミサ典礼書』	新しい「ミサの式次第と第一～第四奉献文」
集会祈願、奉納祈願、拝領祈願	いずれの公式祈願も「……わたしたちの主イエス・キリストによって。」で結ばれ、会衆は「アーメン」と答える。	公式祈願の意向に応じて「 主キリストは （または あなたは ）、生きて、治めておられます、世々とこしえに。」で結ばれ、会衆は「アーメン」と答える。
福音朗読後の賛美の応唱	司 キリストに賛美。 会 キリストに賛美。	司 主のみことば。 会 キリストに賛美。
教会に平和を願う祈り	司 おことばのとおり教会に平和と一致をお与えください。 会 アーメン。	司 おことばのとおり教会に平和と一致をお与えください。 あなた はまことのいのち、すべてを導かれる神、世々とこしえに。 会 アーメン。